



国語教育講演会

別府大学国際言語・文化学科は旧国文学科以来、日本語学・日本文学研究に取り組んでおります。また国語教員養成を重視し、大分県内をはじめ全国各地に中学校・高等学校教員を数多く輩出してきました。この語学・文学研究と教員養成の伝統をより発展させていくために講演会を企画いたしました。この度、山口大学名誉教授の吉村誠氏をお招きし、大学における日本語学・日本文学研究と国語教員養成の関わりについてお話しいただきます。

日時 2024年
11月16日(土)
13:30~15:00 (13:00開場)

会場 別府大学 メディア教育・研究センター
(創立100周年記念館) 4F
メディアホール
大分県別府市北石垣 82

演題

教師として 身に付けるべきこと

講師：吉村 誠氏
(山口大学名誉教授)

■ 吉村誠氏 (山口大学名誉教授) 略歴

1954年、奈良市に生まれる。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期退学。群馬県立女子大学文学部助手、山口大学教育学部講師、同助教授を経て、1997年より山口大学教育学部教授。現在、山口大学名誉教授。博士(文学)。専門分野は上代国文学、特に万葉集研究。国語教員養成に長年携わる。著書に『大伴家持と奈良朝和歌』(おうふう、2001年)、『下手な人生論より万葉集』(河出書房新社、2008年)、『万葉集—研究と教育—』(おうふう、2018年)などがある。



学長裁量経費支援事業

